「滋賀の福祉人マスター」在籍事業所への助成事業 申請書兼事業計画書

### 申請書の書き方や 助成対象となる取組みについて

様々な実践や取組みに使える助成金です。申請内容については、お気軽にご連絡ください。

### 【申し込み・問い合わせ事務局】

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 滋賀県介護・福祉人材センター ひこねセンター TEL 0749-21-6300 MAIL kohoku-jinzai@shigashakyo.jp 「滋賀の福祉人マスター」在籍事業所への助成事業は、以下のような実践や取り組みにご活用いただけます。

どうぞ参考にしていただきますようお願いいたします。

#### 対象となる取組み [助成要綱3事業内容・助成対象 より]

えにしアカデミーでの学びを生かし、「滋賀の福祉人マスター」が中心となり行う以下の事業について、「滋賀の福祉人マスター」在籍する事業所に助成を行う。

- (1)複合・複雑化した支援ニーズに対応できる福祉の人材育成・確保・定着等のための事業
- (2)制度や分野を越えた地域課題解決の取組波及に寄与する事業

#### 例えば・・・

- ・地域実践の取組みやそれを啓発する資材(チラシ)の作成
- ・他分野、他職種から学ぶための事業所との交流
- ・地域住民向けサロンの開催
- ・地域住民向けの研修や講座等の啓発のためのイベントの開催
- ・人材育成のための取組みやそのための資材の作成(事例検討会/事業所内研修/外部研修参加/出前講座等)
- ・人材確保、定着のための取組みやそのための資材の作成 (新入職員確保や定着のための取組み)

などが挙げられます。

## 「滋賀の福祉人マスター」在籍事業所への助成事業対象となる"支出内容"の例

支出科目	支出内容	例
□職員手当	・人材育成を目的として実施する研修会等における職員の指導手当・地域実践にかかる職員の実践手当。 ※ 単なる時間外、休日出勤手当は対象外。	・係長が講師となり、リーダーへ研修指導を行う際の指導にかかる係長への手当。 ・休日に地域向け出前講座を行う際の職員へ の手当。
□報償費	・地域福祉実践や人材確保や定着のための研修 会における外部講師謝礼。	・地域福祉実践の事例を学ぶため、外部より講師を招く際の講師謝礼。
□旅費	・地域福祉実践や人材確保や定着のための研修会における外部講師旅費。 ・地域福祉実践や人材確保や定着のための研修会へ参加するための旅費。	・地域福祉実践の事例を学ぶため、外部より講師を招く際の講師旅費。
□需用費	・地域福祉実践や人材確保や定着のための取組みにかかる印刷代や消耗品費等。	・地域向けサロンの開催にかかるお茶菓子、飾り付けにかかる経費や周知のためのチラシの印刷代。
□役務費	・地域福祉実践や人材確保や定着のための取組みにかかる通信運搬、広報、手数料等	・地域向けサロン開催の周知のためのチラシの郵送費用。 ・地域向けサロン開催の周知のための広告掲載費用。
□使用料 及び賃借	・地域福祉実践や人材確保や定着のための取組 みにかかる会場等の借り上げ代、付帯設備使用 料等	・地域住民向け講座開催のための施設借り上 げ代および付帯設備使用料。
□備品購入	・地域福祉実践や人材確保や定着のための取組みに必要な資機材等の購入。 (ただし、30,000円以上のもの)	・地域住民向け講座に必要となる記録や講座 のためのプロジェクターやタブレット端末等の 購入。

上記例にあてはまらないような取り組みや対象経費などについては事務局までお問合せください。



### 「滋賀の福祉人マスター」在籍事業所への助成事業 申請書兼事業計画書

令和 年 月 日

62,800円

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 会長 様

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	法人 〇〇会
		養護老人ホーム □□□の里
	事業所長名	<b>00</b> ΔΔ
	る「滋賀の福祉人マスター」(アカデミー ( )期生 /	
助 成 対	象事業計画	※2・3年目は予定をご記入ください
1年目(10月~3月)計画 〈事業の目的〉 社会福祉法人としての「地域における	公益的取組み」のさらなる推進	2年目計画 概要 (申請時予定) 1年目の成果を生かした取り組 みを3か所で行う。
	Rける公益的取組み」について、法人内で )実践法人を講師に招いての勉強会や現地	3年目計画 概要 (申請時予定) 5か所へ広げる。
支出内容	支出科目 □職員手当 □報償費 □旅費 □需用費 □役務費 □使用料及び賃借 □備品購入	支出見込金額(円)
振り返り・勉強会 外部講師謝礼 外部講師旅費	□報償費 □旅費	7.000円×3H×2回=42.000円 1.800円×2回=3.600円
現地視察 視察先施設謝礼 職員旅費	□報償費 □旅費	10.000円 1.800円×4名=7.200円

合

計

<sup>※1</sup>年目の計画に大幅な変更があった場合は事務局までご一報ください。

# 例 2

### 「滋賀の福祉人マスター」在籍事業所への助成事業 申請書兼事業計画書

令和 年 月 日

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 会長 様

	法人名 <u> <b>社会</b></u>	福祉法人 OO福祉会
	事業所名 <u>テ</u> ィ	<b>「サービスセンター□□</b>
	事業所長名_	<b>00</b> ΔΔ
"事業所に"在籍する	る「滋賀の福祉人マスター」(アカデミー	修了者)の氏名
( )期生 /	( )期生 /	( )期生 /
助 成 対 1	象事業計画	※2・3年目は予定をご記入ください
1年目(10月~3月)計画		2年目計画 概要 (申請時予定)
〈事業の目的〉		毎月のサロン開催に加えて、年に
地域住民向けサロンの実施することで	本事業所を知ってもらい、利用者との交	2回の大きなイベントを実施す
流を図る機会とするとともに、ボランテ	・ィア等の支援者を増やす。	<b>3</b> 。
		   3年目計画 概要 (申請時予定)
〈事業の概要〉		継続的な地域住民向けサロン・
	ースを活用し地域住民向けサロンを実施	イベントの実施。
する。 		
	支出科目	
支出内容	□職員手当 □報償費 □旅費 □需用費	支出見込金額(円)
	□役務費 □使用料及び賃借 □備品購入	
サロン用消耗品	□需用費	2.500円×6回=15.000円
(飾り付け用品、イベントグッズ等)		
サロン広報用チラシの印刷	□需用費	6.000円×6回=36.000
サロン仏報用ナツンの印刷	□満円貝	0,000円入0四=30,000
		51,000円

# 例 3

### 「滋賀の福祉人マスター」在籍事業所への助成事業 申請書兼事業計画書

令和 年 月 日

50,000円

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 会長 様

化云油性以入 双具未代云油性励强	公 公区 (水	
	法人名 <u> <b>社会</b></u>	福祉法人 OO
	事業所名[	□□こども園
	事業所長名	<b>00</b> ΔΔ
"事業所に"在籍する	る「滋賀の福祉人マスター」(アカデミー	修了者)の氏名
( )期生 /	( )期生 /	( )期生 /
助 成 対	象事業計画	※2・3年目は予定をご記入ください
1年目(10月~3月)計画		2年目計画 概要 (申請時予定)
〈事業の目的〉		継続(1年目に同じ)
人材育成のための指導者の養成。		
〈事業の概要〉		
事業所内研修の実施(10回)		3年目計画 概要(申請時予定)
事例検討会の実施(3回)		継続(1年目に同じ)
	支出科目	
支出内容	□職員手当 □報償費 □旅費 □需用費 □役務費 □使用料及び賃借 □備品購入	支出見込金額(円)
現リーダーへの指導手当(事業所内研		3,000円×10回=30,000円
修)		5,0001107102 50,00011
事例検討(外部)アドバイザーへの謝礼	□報償費	5,000円×1名×3回
		= 15.000円
研修、事例検討会に要する消耗品購入	□需用費	5.000円
PIIIの マガルロスになるのはないのは	Limps	J,000F3

合

計

<sup>※1</sup>年目の計画に大幅な変更があった場合は事務局までご一報ください。